

ボランティア情報誌

ち

よ

ぼ

ら

No.39

みんなで楽しく気軽にちよとずつのボランティア



今年度最後のほっこり井戸端  
サロンは、本郷アンビの皆さんが  
ゲストでした。

会場は暖かい雰囲気の中、大  
いにもり上がりました。

来年度も、ステキなゲストの  
方々に登場していただきましょう。



特集

# 配食ボランティア青い鳥が活動紹介

～ともに生きみんながつながる

まちづくりフォーラムにて～

将来の自分のために今できることを



## 配食ボランティア青い鳥が国際ソロプチミスト小郡より活動資金援助賞を受賞

この賞は、長年にわたりボランティア活動を行い社会貢献している人・団体に贈られるもので、今回平成 11 年より継続して配食活動を行ってきた配食ボランティア青い鳥が受賞しました。2月24日の表彰式には代表の平田茂子さんと発足当時からボランティアとして貢献されている實藤六月さんが出席されました。



12月19日（土）町及び公益財団法人さわやか福祉財団主催・社会福祉協議会共催の「ともに生きみんながつながるまちづくりフォーラム」において、平成 11 年より高齢者等への配食活動をしている『配食ボランティア青い鳥』から、菊池校区の安河内征二さんと本郷校区の平田道朗さんが活動紹介を行いました。このイベントは、介護保険制度の改正と高齢者人口が約 3 割に達する 2025 年を見据え、「これからも住み慣れた地域でともに生き、安心して生活していくためにはどうしたらよいか、みんなで一緒に考えていく」ことを目的に開催されたもので、現在行われている地域住民によるボランティア活動の事例として発表したものです。

旬の食材を使った献立や衛生管理、また利用者との信頼関係づくり、悪天候時の苦労や気遣いなど、常に利用者のことを考えた活動をされていることが伝わりました。

発表の最後に平田さんが「将来の自分のために今できることをやっている。この活動がずっと続くよう、一緒に活動してくれる仲間を募集しています」と呼びかけました。

## 私たちと一緒に活動しませんか？



### 調理ボランティア・配達ボランティアを募集しています

#### 活動日と場所

- 【大堰・本郷校区】第 1/3 金曜日 午後 1 時半～ 中央公民館
- 【大刀洗校区】第 2/4 火曜日 午後 1 時半～ 南部コミュニティセンター
- 【菊池校区】第 1/3 金曜日 午後 1 時半～ 就業改善センター

配達は 3 時前後から活動開始

問合せ先

大刀洗町社会福祉協議会 TEL 77-4877

# ボランティア連絡協議会の ほっこり井戸端サロン

～お茶を飲みながらみんなで楽しく～



## 『自発的に行動できる子どもに』 本郷アンビシヤス広場の活動を聞いて

東本郷 平田 敏子



会場に入ると、テーブルには、カラフルな折り鶴が配置され心がなごみました。楽しい雰囲気の中で本郷アンビシヤス広場の活動内容が報告され、「自発的に行動できる子どもの育成」をめざす取り組みが紹介されました。

一週間の通学合宿では、お料理や宿題をする映像が映し出され、中でもお客様にお盆に載せたお茶を緊張しながら運ぶ姿は印象的でした。忙しさと便利な環境の中で、忘れかけていたものを体験する子ども達の姿は、人とのつながりの中で生きていくことを知り、地域の一員であることを学んだと私たちに教えてくれました。これを支えて下さる方々の計画と実行はいかにたいへんな事かと推察致しましたが、「苦労より子ども達と共に楽しんでいよう」というお声を聞いたときは胸があつくなりました。

見守って下さる人たちの温かき、それを受け止めて成長していく子ども達に楽しみました。初めてサロンに参加しましたが、ほっこりとぬくもりを感じたひとときでした。

## 皆様に感謝を込めて

～ナレーションサークル風20周年記念朗読会～



ナレーションサークル風 代表 福村 千代美

3月12日(土)ナレーションサークル風は、富多の立正寺にて20周年記念朗読会を開催しました。当日は、町内外から多くの皆様にご出席いただき、盛会のうちに「母親の優しさ ありがたさ」をテーマにした朗読を披露することができました。朗読会の後は席を移して私たち手

作りのお菓子とお茶で皆さんと暫し歓談、和やかなひとときを過ごすことができました。

20年前、小郡市から転居して来られた視覚障がい者の原謙二さんの依頼を受け、広報たちあらいを読むために発足した朗読ボランティアでしたが、少しずつ活動の幅を広げ、今では赤ちゃんからお年寄りまで幅広く地域の皆さんに私たちの声をお届けすることができるようになりました。

仲間に恵まれ、常にみんなで楽しみながら活動をして来ましたので、「20年、気がついたらもうそんなに…」といった感じです。

こうして長く続けて来られたのも多くの方々のご協力があったからこそと感謝しています。これからも、皆さんと感動を共有できるような活動を続けて行きたいと思います。

# 私のボランティア日記

## “ほんによいとこ大刀洗”をご案内します

ボランティアガイド 江下 泰子  
ふるさと案内人



2008年、中央公民館講座「郷土史学級」の学級生の有志でボランティアガイド「ふるさと案内人」を立ち上げました。

主な活動として、町内外の方に「今村カトリック教会」「筑後川と大堰神社（筑後川の堰作りに尽力した人々の物語）」「大刀洗公園の菊池武光公（大保原合戦について）」を、自作の紙芝居やペープサートを使って案内しています。

最初の1年は、文化財の赤川さんにご指導いただきながら毎月2回の勉強会をひらき、学び直しから始めました。それと同時に、せっかく来ていただく方に、「何かしら記憶に残る案内ができればいいね」との思いから、紙芝居等で案内することを思いました。決して上手な絵ではありませんが、「とてもわかりやすかった」「紙芝居がよかった」と声をかけていた

いた時が大きな喜びです。そして笑顔で帰っていかれる姿が、私たちの今後の活動への推進力になります。

現在は、役場の地域振興課を通して、ボランティアガイドの依頼を受けています。

新しいユニフォーム（法被）もできました。私たちは、「郷土史学級」の枠を取り除き、仲間をふやしていきたいと願っています。

私たちと一緒に“ほんによいとこ大刀洗”を案内しませんか？



## 笑顔を忘れず暮らしたい

### ふくおか“きずな”フェスティバルに参加して

大堰アンビシャス広場ボランティア  
松熊 美由紀

春日市で年1回開催されている「ふくおかきずなフェスティバル」に初めて参加しました。

オープニングは太宰府西中学校吹奏学部による、元気いっぱいのパフォーマンスでした。短い時間でしたが、彼らの演奏に合わせた手拍子で会場内が一つになりました。

この日の基調講演は、認知症介護指導者ビーイングの会・藤崎陽子氏による「地域での暮らしを支えるために今」と題しての講演と、劇団ふーによる介護劇「ささえ愛…忘れてもよかよか…」の二本立てで、これからの高齢化社会に向けて、私たちにできる事を教えていただきました。その中で、人に元気や笑顔をもたらすことができるのは人である。すべての人が助け合い、支えあいながら笑顔を忘れず暮らせることが地域の中で大切だと気づかされました。

これからも笑顔を忘れずに地域の皆さんとしっかり繋がっていきたくと思いました。

午後からは、ボランティア活動別分科会があり、充実した一日を過ごすことができました。



### あとがき

今年度もちょぼらをご愛読いただきまして、ありがとうございました。

来年度もよろしく願いいたします。ボランティアに関する情報があれば、すぐに取材にお伺いします。

連絡先 ボランティアセンター TEL.77-4877

スマイル



代表 福村 宮生  
福村 千代美  
田 畠 孝三

編集スタッフ募集中!